

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 7 年 6 月 30 日

提出者

住所 奈良県奈良市七条2丁目789番地

氏名 独立行政法人国立病院機構  
奈良医療センター 院長 永田 清

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0742-45-4591



産業廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和6年度の特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	独立行政法人国立病院機構奈良医療センター
事業場の所在地	奈良県奈良市七条2丁目789番地
事業の種類	P83 医療業
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 6 年 4 月 1 日 から 令和 7 年 3 月 31 日

特別管理産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	122.92 t	全処理委託量	122.92 t
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	優良/認定処理業者への処理委託量	t
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	再生利用業者への処理委託量	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への処理委託量	t
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t

電子情報処理組織の使用に関する事項

特別管理産業廃棄物排出量 （ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。）	前々年度 140.38t 前年度 122.92t
（電子情報処理組織の使用に関して実施した取組） 電子マニフェスト（JWET）加入済み	

※事務処理欄

特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書 別紙

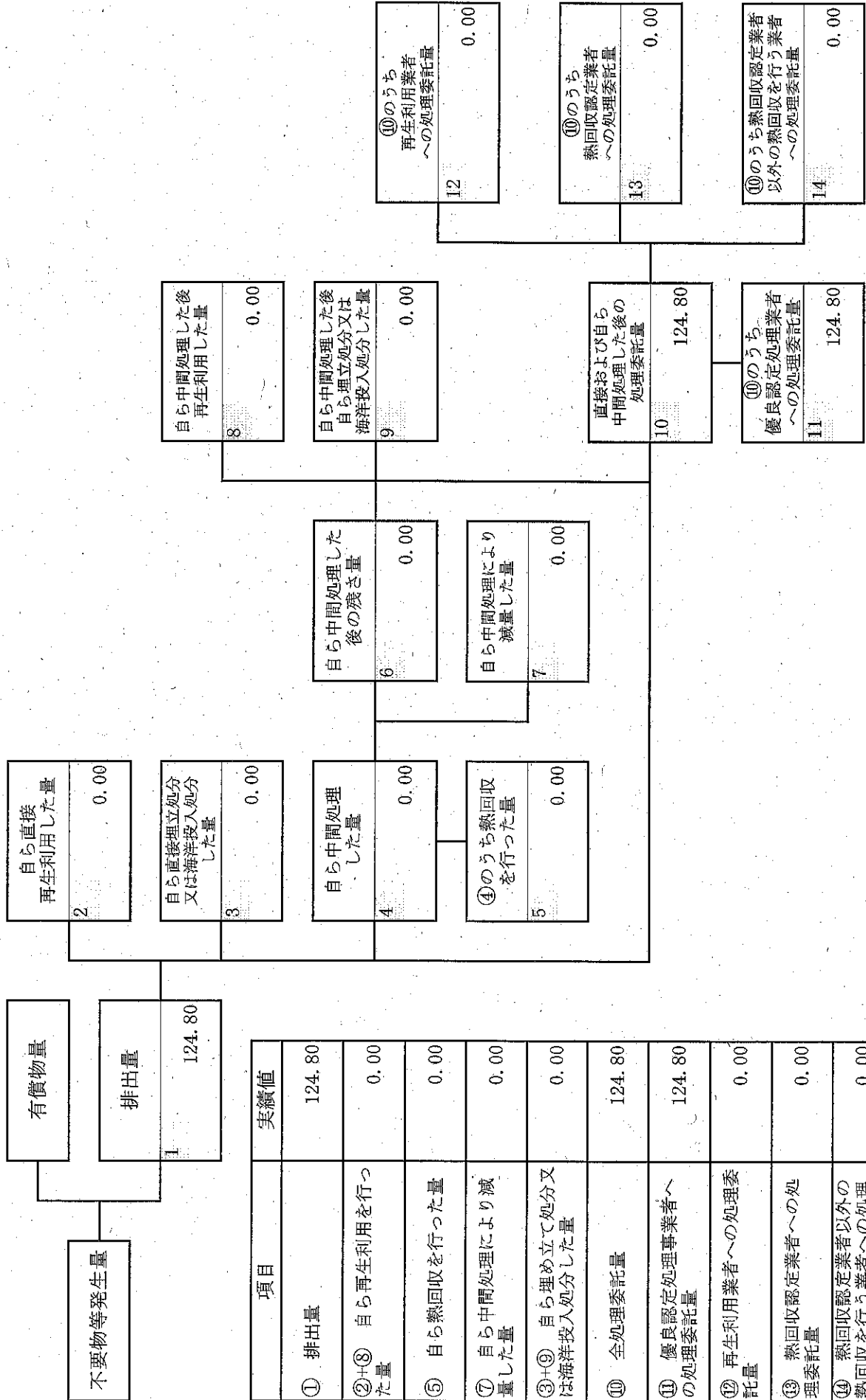
特別管理産業廃棄物処理計画実施状況報告書 別紙

氏名又は法人名	報告担当者所属部署	担当者氏名	電話番号
独立行政法人国立病院機構奈良医療センター	事務部 企画課 契約係	大良 拓実	0742-45-4591

特別管理産業廃棄物の種類	排出量	自ら処理した廃棄物に関する事項							委託処理した後の処理委託量							他の中間処理業者	埋立処分業者		
		中間処理を含まない				中間処理を含む			(委託先の区分ごとの処理委託量)										
		自ら再生利用を行った量	自ら埋立又は焼却投入した量	自ら中間処理を行った量	自ら焼却投入を行った量	中間処理後の残さ量	自ら焼却処理により減量した量(自前計算)	中間処理業者の再生利用量	中間処理業者の焼却投入量	全処理委託量(自前計算)	うち優良認定業者への委託量	再生利用業者	焼却熱回収業者	認定業者以外の焼却投入業者	その他の中間処理業者				
1 感染性廃棄物	124.80t						0.00t	8	9	124.80t	124.80t	11	12	13	14	15	16		
2							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
3							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
4							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
5							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
6							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
7							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
8							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
9							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
10							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
11							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
12							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
13							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
14							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
15							0.00t			0.00t	0.00t				0.00t				
合計	124.80t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	124.80t	124.80t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t	0.00t		

計画の実施状況

(特別管理産業廃棄物の種類： 感染性廃棄物 )



備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「特別管理産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の特別管理産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
  - (1) ①欄 当該事業場において生じた特別管理産業廃棄物の量
  - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず自ら再生利用した量
  - (3) ③欄 (1)の量のうち中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
  - (4) ④欄 (1)のうち、自ら中間処理をした特別管理産業廃棄物の当該中間処理前の量
  - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
  - (6) ⑥欄 自ら中間処理した後の量
  - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
  - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
  - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
  - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
  - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量
  - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
  - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量
  - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、特別管理産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 特別管理産業廃棄物の種類が2以上あるときは、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により特別管理産業廃棄物処理計画の実施状況が明らかにした書類を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。